

Agilent CrossLab スタートアップサービス

Agilent OpenLab CDS 3.0 AIC

ソフトウェア設置準備チェックリスト

アジレント・テクノロジーのソフトウェアをご購入いただき誠にありがとうございます。CrossLab スタートアップは、ご購入いただいた機器システムの性能を迅速かつ最大限にご利用いただけるよう、お客様を支援することに重点を置いています。

機器とソフトウェアを長期にわたって安定的に運用するためには、適切な設置場所の準備が必要です。このチェックリストには、ラボでシステムをセットアップする際に必要なソフトウェア要件がまとめられていますので、**事前準備のガイド、およびチェックリスト**としてご利用ください。

はじめに

ご注意（必ずお読みください）

- 下記「お客様へのお願い」に不明点などがございましたら、担当の代理店もしくはアジレントにご連絡ください。また、設置場所の準備状況によっては作業日程を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 何らかの事情により設置場所の準備が作業日までに整わない場合は、日程を調整する必要がございますので、速やかに担当の代理店またはアジレントまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- 標準操作説明に含まれない説明、運転時適格性評価（OQ）、およびお客様のアプリケーションのコンサルティングなどをご希望される場合は、別途契約が必要となりますので担当営業にご相談ください。

お客様へのお願い

インストールの前日までに、以下の内容についてご確認ください。詳細については、チェックリスト内の各セクションを参照してください。

- **コンピューターの使用環境**と設置スペースの確保
- コンピューターシステムおよび周辺機器に対応する**電源コンセント**が適切な場所に必要な数だけ用意されていること
- お客様の**ソフトウェア、ハードウェア、およびネットワーク**が本書の仕様を満たしていること
- 注文書の情報と、購入時に指定されたお客様の担当者に送信された**エンタイトルメント証明書**の**電子メール**があること
- お客様のシステムに、適切な修正プログラム、Microsoft 更新プログラム、パッチが適用されていることを確認。
- **重要：お客様が PC を用意する場合は、インストールを開始する前にお客様にて最新の Windows バージョン および Microsoft 更新プログラムを PC にインストールしておく必要があります。**
- アップグレードやアップデート用のメディアを含め、必要な**ソフトウェアメディア**が揃っていること 注意：物理的なソフトウェアメディアは、購入時にお客様が希望された場合のみ配送されます。ソフトウェアは、お客様の **Agilent オンラインアカウント**からダウンロードできます。インストール作業の前日までにダウンロードを完了してください。
- ソフトウェアに適切な**バックアップソリューション**が準備できていること

リビジョン：A.01 発行日：2026年5月

文書番号：D0145528ja

© Agilent Technologies, Inc. 2026

— / —

- **インストール作業および取り扱い説明の際には、機器システムのご担当者の立ち合いをお願いしております。**ご不在の場合、重要な操作やメンテナンス、安全性に関する情報をお伝えできなくなりますのでご注意ください。
- イン트라ネットに接続する際は、必要に応じて**システム管理者またはネットワーク管理者**が対応できること
- その他、製品固有の情報については、「**その他の重要な要件**」を参照してください。
- **最終確認**：System Preparation Tool を実行。OpenLab CDS 3.0 インストールメディアにアクセスし、¥Setup¥Tools¥SPT にある SystemPreparationTool.exe を実行して最終確認を完了します。

System Preparation Tool (SPT) は Windows の設定を確認してマシンに適用します。手順の大部分はツールによって自動化されています。これらの設定を適用することで、製品のインストール時や使用時の問題を回避できます。System Preparation レポートを確認し、レポートに記載された必須、および推奨される変更を手動で適用してください。

Agilent Web サイト

- オンライントレーニング、クラスルームトレーニング、およびオンサイトトレーニングについては、**トレーニングとイベント** (<https://www.agilent.com/chem/training>) にアクセスしてご確認ください。トレーニングの担当者が直接お客様と一緒に、最適なトレーニングを決定するお手伝いをすることも可能です。
- **Agilent Resource Center** ウェブページは、<https://www.agilent.com/en-us/agilentresources> からアクセスしてください。以下のトピックが利用できます。
 - Sample Prep and Containment (サンプル前処理およびサンプル容器)
 - Chemical Standards (標準物質/標準試料)
 - Analysis (分析)
 - Service and Support (サービスとサポート)
 - Application Workflows (アプリケーションワークフロー)
- **Agilent Community** は、質問の回答を得たり、アプリケーションやアジレント製品について他のユーザーと連携したり、アジレントの技術関連の詳細なドキュメントやビデオを検索したりできる便利なサイトです。<https://community.agilent.com/welcome> からアクセスしてください。
- 機器の設置に必要な準備のビデオも利用できます。**Agilent YouTube** チャンネル (<https://www.youtube.com/user/agilent>) を検索してご覧ください。
- **カスタムコンタクトセンターへのお問い合わせ**：**保守プランとオンデマンド | Agilent ウェブサイト** または <https://explore.agilent.com/ContactUs-jp> をご覧ください。

- **Agilent Software Service Desk** には、<https://servicedesk.li.agilent.com/support> からアクセスしてください。有効なソフトウェアメンテナンス契約（SMA）をお持ちのユーザーは、ここからサポートリクエストを送信したり、リクエストのステータスを確認したりできます。
- OpenLab CDS 3.0 は、**Agilent Electronic Licensing** を使用しており、付与されたすべてのライセンスは **Agilent** オンラインアカウントの「Licenses & Agreements（ライセンスと契約）」ページから閲覧および管理できます。**Agilent オンラインアカウント**にアクセスするには、<https://www.agilent.com> にアクセスしてアカウントの資格情報を入力し、ログインしてください。次に、アカウントのドロップダウンメニューを展開して、「ダッシュボード」を選択します。ソフトウェアのインストールメディアと更新は、エンタイトルメントの Download/Activate software（ソフトウェアのダウンロード/アクティベート）リンクからダウンロードできます。
- 一部の OpenLab 機器ドライバーおよびアドオン、MassHunter 定性分析および BioConfirm では、ライセンスの管理と最新のソフトウェア/アップデートのダウンロードに **Agilent SubscribeNet** を使用しています。**Agilent SubscribeNet** には、<https://agilent.subscribe.net> からアクセスしてください。
- Software Status Bulletin (SSB) および Software Release Bulletin (SRB) へのリンクは、インストールメディアの Setup¥Tools¥Support¥History¥Software Bulletins.pdf を参照してください。
- 最新のヘルプおよびリソースが含まれるフルバージョンのオンライン版 OpenLab Help & Learning システムが、<https://openlab.help.agilent.com> からご利用いただけます。オンライン版には日本語のユーザーマニュアルも掲載されています。

設置準備

AIC のソフトウェア仕様

ソフトウェア項目	詳細
オペレーティングシステム、バージョン	Windows 10 Enterprise または Professional、64 ビット（バージョン 21H2 以降） Windows 11 Enterprise または Professional、64 ビット（バージョン 24H2 以降） Windows Server 2019 Standard または Datacenter、64 ビット* Windows Server 2022 Standard または Datacenter、64 ビット* Windows Server 2025 Standard または Datacenter、64 ビット*
.NET Framework（64 ビット）	.NET 3.5.x（ Windows で有効にする必要があります ）および .NET 4.8 以降（ OpenLab CDS 3.0 インストーラによりインストールされます ）
.NET Core（64 -ビット）	6.0 および 8.0（ OpenLab CDS 3.0 インストーラによりインストールされます ）
ASP.NET Runtime	6.0 および 8.0（ OpenLab CDS 3.0 インストーラによりインストールされます ）
ウェブブラウザ	Google Chrome 98 以降 Microsoft Edge
アンチウィルスソフトウェア	Microsoft Defender Antivirus Trellix MVISION Plus Symantec Endpoint Security CrowdStrike
言語の設定/互換性	英語 西ヨーロッパ言語（CDS は常に英語で表示） 中国語（ローカライズされていない機器ドライバは英語で表示） 日本語（ローカライズされていない機器ドライバは英語で表示） ポルトガル語（ブラジル）（ローカライズされていない機器ドライバは英語で表示）
アカウント設定/権限	インストールと設定にはローカルの管理者権限を持つドメインユーザーが必要

*サポートされていますが、推奨されません

コンピューターのハードウェア推奨仕様 - AIC

ハードウェア項目	詳細
動作テスト済み Agilent のオリジナルバンドル PC	HP Z2 G9 SFF Workstation : Intel® Core i5-12500、3.0 GHz、18MB キャッシュ、6 コア
プロセッサのタイプと速度	Intel® i5、i7、Xeon E3、または同等品 3.0 GHz 以上、4 コア
メモリ	16 GB、Windows オペレーティングシステム用に少なくとも 4 GB を確保
ハードディスク	2 x 500 GB または 1TB 7200 RPM SATA (最小) または同等のソリッドステートドライブ (推奨) コンピューターにディスクアレイコントローラがある場合は、RAID1 (1 TB x 2) を推奨
USB ポート	インストール用に USB メディアを注文した場合、USB 3.0 が必要です。†
RS-232 ポート	選択した機器が RS-232 通信を使用する場合はシリアルポートが 1 個必要。 詳細は機器の仕様を参照してください。
LAN カード	機器コントロール用 100MB / 1GB LAN 機器のデータトラフィックをラボのイントラネット接続から分離するために、ラボイントラネット接続用に 2 枚目の LAN カードが必要。
グラフィック解像度 (フェイルオーバーモードのみモニタが必要)	最小 1600 x 900 推奨 1920 x 1080

†ソフトウェアは、Agilent オンラインアカウントからダウンロードできます。オプションとして USB メディアを利用できます。

コンピューターのハードウェア推奨設定 - LC/(Q-)TOF 機器 1 台を接続する AIC*

ハードウェア項目	詳細
動作テスト済み Agilent のオリジナルバンドル PC	HP Z4 G5
プロセッサのタイプと速度	Intel® W3-2423 (4.2 GHz、15 MB キャッシュ、6 コア) 、または同等品 4.2 GHz 以上、6 コア以上
メモリ	最小 32 GB 64 GB 推奨 (1 台の LC/(Q-)TOF の場合)
ハードディスク	1 TB M.2 NVMe SSD ブートボリューム、および (オプション) 12 TB 7200 RPM SATA 6G HDD (拡張フェイルオーバー運用向け)
USB ポート	インストール用に USB メディアを注文した場合、USB 3.0 が必要です。†
RS-232 ポート	選択した機器が RS-232 通信を使用する場合はシリアルポートが 1 個必要。詳細は機器の仕様を参照してください。
LAN カード	10 GbE LAN、G6575A 機器コントロール用 1 GbE LAN、G6549A または G6230C 用 機器のデータトラフィックをラボのイントラネット接続から分離するために、ラボイントラネット接続用に 2 枚目の LAN カードが必要。
グラフィック解像度 (フェイルオーバーモードのみモニタが必要)	最小 1600 x 900 推奨 1920 x 1080

*すべてのコンフィグレーションで MassHunter 定性分析と BioConfirm がインストールされることを想定しています。

†ソフトウェアは Agilent オンラインアカウントまたは SubscribeNet からダウンロードできます。オプションとして USB メディアを利用できます。

ネットワーク仕様

ドメインの要件：ドメインは、ネットワーク内にあるマシン間の情報のフローとユーザーアクセス権をサポートします。したがって、ネットワーク化された OpenLab CDS システム内のすべてのマシンと機器が同一ドメイン内に存在するか、またはシステム内の全コンポーネント間で名前ベースの通信を可能にするために、ドメイン間に双方向推移的信頼関係が確立されている必要があります。AIC をインストールする場合、正しく機能させるためには、AIC がドメインコンポーネントと常に通信できる必要があります。

デフォルトでは、OpenLab Server/ECM XT 2.8 Feature Pack 01 (FP01) は単一ドメインに限定されています。OpenLab CDS 3.0 クライアントと AIC を、OpenLab Server/ECM XT 2.8 FP01 サーバーと異なるドメインに展開する前に以下を確認してください。

- ドメイン間で、適切な双方向推移的信頼関係が確立されている
- 認証局からのカスタム証明書を展開するか、OpenLab CDS SSB (agilent.com/cs/library/support/Patches/SSBs/M84xx.html#TTID:1058057) の KPR# 1058057 に概説されている手順に従い、マルチドメインと互換性のあるデジタル証明書を展開・更新する

ドメインネームサーバー (DNS) は、すべての機器コントローラと機器の IPv4 アドレスを解決できなければなりません。機器コントローラまたは機器の名前が解決できないと、OpenLab の機能が中断されてエラーや遅れの原因となります。IPv6 はサポートされていないため無効にしてください。

LAN 通信を使用して、AIC と機器を接続する場合、以下のガイドラインに従ってください。

- 標準の CAT-5E または CAT-6 ネットワークケーブルを使用し、独立したスイッチを介して接続
- 100/1000 Mbps 以上の速度に対応している LAN 通信ハードウェアで接続一部の LC/(Q-)TOF コンフィグレーションには、10 GbE が必要。J4100 Jet Direct Card はサポートされていません。G1369 LAN インターフェイスカードなどを代わりに使用してください。
- NIC チーミング (注記 1 を参照) : AIC の LAN カードは、チーミングしないでください。
- LAN 通信では、AIC が機器と同一のサブネット上にある必要があります。同一のセグメント上を推奨します。

注記 1：ネットワークインターフェイスカード (NIC) のチーミングは、負荷分散フェイルオーバー (LBFO) とも言います。

ネットワーク項目	詳細
ネットワークのタイプ、帯域幅、速度、プロトコルなど	インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のみ インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6) はサポートされていません。
IP アドレス	固定 または DHCP 予約

OpenLab CDS 3.0 ネットワークの仕様に関する詳細は、インストールメディアの『OpenLab CDS の要件とサポートする機器ガイド』（CDS_v3.0_Requirements_ja.pdf）の「ネットワーク仕様」の章を参照してください。

仮想化

VMware vSphere では、AIC の仮想化がサポートされています。ただし、AIC の仮想化は推奨されません。また、LC/(Q-)TOF 機器をコントロールする場合、仮想化された AIC はサポートされていません。特に機器と AIC 間の接続が OpenLab 通信の冗長性プロトコルの範囲外になる場合、機器から離れて配置された AIC ではリスクが増大します。通信上の回復不可能な問題の発生を防止するために、ローカルネットワークで接続することを推奨します。ご使用の環境で AIC を構築する場所と方法を選定する際は、お客様の責任のもと適切なリスク評価を行ってください。

その他の重要な要件

- サポートされているハードウェア、ソフトウェア、機器、およびファームウェアの要件については、インストールメディアの **CDS_v3.0_Requirements_en.pdf** を参照してください。
- お客様が Windows Defender ファイアウォール以外のファイアウォールを使用している場合、必要なすべてのポートが OpenLab CDS で使用できることを確認します。詳細については、『**OpenLab CDS ワークステーション、クライアント、および機器コントローラ 要件とサポートされる機器**』（CDS_v3.0_Requirements_ja.pdf）の 3 章「ネットワーク仕様」の「ファイアウォールの設定」を参照してください。

サービスエンジニアの確認（オプション）

サービスエンジニアのコメント

サービスエンジニアがお客様と一緒に設置準備の要件を確認した場合は、サービスエンジニアが以下の欄に記入します。

設置準備についての特記事項や、お客様へのお知らせを記入します。

設置準備の完了/署名

サービスリクエスト番号：

実施日：

サービスエンジニア氏名：

お客様氏名：

サービスエンジニア署名：

本文書のページ数：